



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社マーケットエンタープライズ 上場取引所 東
 コード番号 3135 URL <http://www.marketenterprise.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小林 泰士
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 今村 健一 (TEL) 03-5159-4060
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の業績（平成27年7月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	1,056	—	7	—	7	—	3	—
27年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年6月期第1四半期	1.39		1.34					
27年6月期第1四半期	—		—					

(注) 当社は、平成26年6月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年6月期第1四半期の記載及び対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	1,203	—	886	—	73.6	—
27年6月期	1,301	—	882	—	67.8	—

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 886百万円 27年6月期 882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	—	—	0.00	0.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,250	31.6	320	34.6	321	41.3	200	46.3	78.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年6月期1Q	2,534,500株	27年6月期	2,534,500株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年6月期1Q	—株	27年6月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年6月期1Q	2,534,500株	27年6月期1Q	—株
----------	------------	----------	----

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府・日銀の金融政策により企業収益や雇用情勢が緩やかに改善し、景気は緩やかな回復基調で推移する一方、不安定な世界経済情勢の影響を受けた株価の乱高下等、未だ先行きの不透明感は拭えない状況であります。

このような経済情勢下、当社が直面するリユース市場、EC市場は、共に堅調に拡大を続けております。

リユース市場においては、従前から引き続き「低価格志向」「かしこい消費」に加え、「シェアリングエコノミー」の思想が徐々に浸透しており、商品の購買活動にあたって当該商品の売却を考えて購入している消費者が特に若年層に多く見られるようになっております。この意識変化がリユース市場成長の一つの要因であると考えられます。

また、EC市場においては、従前より引き続き、タブレットやスマートフォンといったスマートデバイスの普及により、老若男女を問わずインターネットサービスの利用が拡大したことから、その規模が拡大しております。

以上のような事業環境を背景に、当社におきましては、当社の強みである「コンテンツマーケティング」「ITシステム」「オペレーションシステム」を活かし、積極的な事業展開を進めてまいりました。

特に、コンテンツマーケティングにつきましては、データフィード広告(ユーザーの嗜好性に合わせて、画像・商品サービスなどをインターネット媒体の広告枠に配信する広告)や動画広告の拡充等、買取件数の拡大に向けて様々なマーケティング活動を実践してまいりました。結果として、買取の規模は順調に拡大しながらも、買取に係わる広告宣伝活動の効率化が図られました。

また、9月には「リユースにもっと安心を」をコンセプトに掲げ、自社ECサービスである「R e R e」(<https://www.rere.jp/>)をリリースし、商品の買取から販売に至る全てのプロセスにおいて、自社内で完結ができる体制が構築されました。

当社の事業特性上、転居に伴う商品の買い替えや、商品の新規購入等のニーズが高まる第4四半期(4月～6月)に買取依頼、販売が集中する結果、当該四半期の収益性が高くなる一方で、第1四半期(7月～9月)は売上高が減少し、それに伴い利益が出づらいつ傾向にあります。

しかしながら、当第1四半期累計期間におきましては上記の取組が奏功し、業績として売上高は1,056,675千円、営業利益は7,959千円、経常利益は7,488千円、四半期純利益は3,534千円となり、第1四半期として、過去最高の業績となりました。

参考までに前事業年度における四半期別の構成を以下に記載いたします。

前事業年度 (平成27年6月期)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高(千円)	833,468	961,258	1,004,195	1,189,766	3,988,688
構成比(%)	20.9	24.1	25.2	29.8	100.0
営業利益(千円)	△3,151	50,625	76,689	113,519	237,683
構成比(%)	△1.3	21.3	32.3	47.7	100.0

(注) 当社は、平成27年6月17日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成27年6月期第1四半期、第2四半期及び第3四半期の四半期報告書は提出していませんが、金融商品取引法第193条の2第1項に基づき、平成27年6月期第3四半期の四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により、四半期レビューを受けております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度末と比べて97,132千円減少し、1,203,932千円となりました。これは主に、仕入規模拡大に伴う商品の増加96,607千円や有形固定資産の増加24,673千円があった一方で、これらにより現金及び預金が221,046千円減少したことによるものであります

(負債)

負債は前事業年度末と比べて100,667千円減少し、317,818千円となりました。これは主に、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少63,709千円や借入金返済による長期借入金の減少12,501千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて3,534千円増加し、886,114千円となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加3,534千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成27年8月7日に公表いたしました平成28年6月期の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	739,830	518,784
売掛金	103,251	90,066
商品	309,274	405,881
貯蔵品	2,208	5,805
その他	27,180	32,025
流動資産合計	1,181,744	1,052,563
固定資産		
有形固定資産	31,250	55,924
無形固定資産	201	151
投資その他の資産	87,867	95,293
固定資産合計	119,320	151,369
資産合計	1,301,065	1,203,932
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払金	104,452	116,430
未払法人税等	65,979	2,269
その他	116,386	79,951
流動負債合計	336,822	248,656
固定負債		
長期借入金	81,663	69,162
固定負債合計	81,663	69,162
負債合計	418,485	317,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,865	304,865
資本剰余金	284,505	284,505
利益剰余金	293,210	296,744
株主資本合計	882,580	886,114
純資産合計	882,580	886,114
負債純資産合計	1,301,065	1,203,932

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,056,675
売上原価	546,157
売上総利益	510,517
販売費及び一般管理費	502,558
営業利益	7,959
営業外収益	
自販機収入	339
その他	126
営業外収益合計	465
営業外費用	
支払利息	306
支払補償費	567
その他	61
営業外費用合計	935
経常利益	7,488
税引前四半期純利益	7,488
法人税、住民税及び事業税	569
法人税等調整額	3,385
法人税等合計	3,954
四半期純利益	3,534

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、ネット型リユース事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。